

足立区年表

年	日 本	足 立 区
1573(天正14)	織田信長が室町幕府を滅ぼす	
1590(天正18)	豊臣秀吉が全国を統一する 徳川家康江戸城に入る	
1594(文禄3)		千住大橋完成
1597(文禄6)		千住が宿場に指定される
1603(慶長8)	徳川家康江戸に幕府を開く	
1616(元和2)		荒川堤できる
1625(寛永2)		千住宿が日光街道道中の初宿となる
1818~29 (文政年間)		戸数 - 約4,207余戸 人口 - 約22,000~25,000人
1869(明治2)	東京遷都	小菅県設置 千住宿大火 2丁目から5丁目まで200余軒焼失
1870(明治3)	日の丸を国旗とする	千住宿の馱馬が廃止される
1871(明治4)	廃藩置県	小菅県廃止
1872(明治5)	学制を制定	千住郵便取扱所が千住駅に開設され、郵便業務が始められる 千住 - 宇都宮間に陸羽道中運輸馬車会社が営業を開始
1874(明治7)	東京警視庁設置	戸数 - 5,730戸 人口 - 31,592人
1877(明治10)	西南戦争	千住魚市場が開場許可される
1878(明治11)	戸籍表発表 戸数 - 7,293,110戸 人口 - 34,338,400人	暴風雨により、多摩川、荒川、綾瀬川の大増水で洪水となり、大きな被害を受ける
1885(明治18)	日本郵船創立	大暴風雨と津波によって隅田川が大洪水となり、千住大橋の一部、吾妻橋、戸田橋などが流失
1887(明治20)	東京電燈会社市内に配電開始	千住1丁目に郡役所庁舎を建築 (後に千住町役場とともに区役所となる)
1889(明治22)	東京市成立	1町8カ村となる (千住町、西新井、梅島、江北、花畑、淵江、東淵江、綾瀬、舎人)
1890(明治23)	教育勅語発布	千住馬車鉄道営業開始
1891(明治24)	日本鉄道、東京 - 青森間開通	淵江村から伊興村が独立し、1町9カ村となる
1896(明治29)	日露協定成立	日本鉄道会社土浦線の田端 - 土浦間が開通し、北千住駅設置される
1899(明治32)	府県制、群制施行	東武線北千住 - 久喜間開通
1900(明治33)	治安警察法公布	千住吾妻急行汽船会社設立
1902(明治35)	日英同盟協約	足立区初の日本製靴株式会社設立 (千住橋戸町)
1907(明治40)	第3次日韓協約調印	東武線北千住 - 吾妻橋間開通 関東地方に豪雨が続き、利根川、荒川、等諸河川が氾濫、東京は大被害を受けた (南足立郡内で6,021人救助)
1910(明治43)	日韓条約調印	関東地方に豪雨が降り続いたため、荒川と利根川が氾濫し、浸水させる

年	日 本	足 立 区
1912(明治45)	明治天皇崩御	荒川堤の桜をアメリカ合衆国に寄贈 三輪橋 - 千住大橋間に市電が開通
1914(大正3)	第一次世界大戦参戦	3度の暴風雨に見舞われ、大被災を受ける
1919(大正8)	パリ講和会議開催	千住4丁目飛地(現柳町)の区画整理が完了し、遊郭が移築・新築される 千住の遊郭柳町のはじまり
1920(大正9)	第1回国勢調査 総人口 - 76,988,379人	第1回国勢調査 人口 - 60,780人
1922(大正11)	日本農民組合結成	千住乗合自動車開通 (千住大橋～千住5丁目)
1923(大正12)	関東大震災	西新井橋完成 江北橋完成
1924(大正13)	東京放送局設立	東武線鐘ヶ淵 - 西新井間を移築 千住橋完成
1925(大正14)	第2回国勢調査 総人口 - 83,456,929人	東武鉄道が浅草 - 西新井間に電車の運転開始 東京北魚市場発足 第2回国勢調査 人口 - 89,226人
1926(大正15)	大正天皇崩御	千住火力発電所完成(おばけ煙突) 瓦製造業者 大谷田10名 長右衛門新田2名 蒲原2名 伊興1名 計15名 国道4号の新道(千住大橋 - 千住新橋間)完成
1927(昭和2)	金融恐慌	千住大橋の架替工事完成 千住生花市場成立
1928(昭和3)	普通選挙法による初の総選挙	千住大橋 - 千住4丁目間に市電が開通
1930(昭和5)	第3回国勢調査 総人口 - 90,396,043人	第3回国勢調査 人口 - 127,507人 荒川放水路完成 尾竹橋完成
1931(昭和6)	満州事変	京成電鉄開通(区内に3駅設置) 東武鉄道大師線開通
1932(昭和7)	五・一五事件	市郡併合により足立区誕生 (千住町・西新井町・梅島町・綾瀬村・東淵江村・花畑村・淵江村・伊興村・舎人村・江北村)
1933(昭和8)	国際連盟脱退	国道4号と東武鉄道が立体交差するため梅島陸橋が架けられる
1935(昭和10)	第4回国勢調査 総人口 - 9,796万人	第4回国勢調査 人口 - 174,612人 初の区立公園大橋公園開園
1937(昭和12)	日中戦争	軍需産業急速に伸びる 千住関屋町・千住曙町 - 鉄鋼工場 大谷田町 - 日立製作所・国産精機
1939(昭和14)	第二次世界大戦	紙すき業者 梅田38戸 興野17戸 本木91戸
1940(昭和15)	第5回国勢調査 総人口 - 1億522万余人	第5回国勢調査 人口 - 231,246人

年	日 本	足 立 区
1943(昭和18)	東京都制実施	常磐線に綾瀬駅新設 東京都足立区誕生
1944(昭和19)	B29東京初空襲	人口調査 人口 - 250,553人 区役所庁舎完成
1945(昭和20)	終戦	花畑乗合自動車株式会社が東武鉄道株式会社に合併 B29により約18,000戸が焼失し、11万人の区民が離散 人口調査 - 172,436人
1946(昭和21)	天皇人間宣言 人口 - 73,110,995人	人口調査 - 204,755人
1947(昭和22)	労働基準法公布 独占禁止法公布 地方自治法公布	特別区足立区誕生 足立簡易裁判所・足立区検察庁設立 キャスリン台風により、全世帯の3割以上が被害を受ける 国勢調査 人口 - 233,217人
1948(昭和23)	海上保安庁設置	都営住宅建設 区役所新庁舎完成 人口調査 人口 - 240,891人
1949(昭和24)	ドッジライン明示	足立税務署開設 千住の花火復活 キティ台風により隅田川沿岸に被害 産米供出割当東京都下の産米の4割 熱帯低気圧ヘリーンにより 多大な被害 国勢調査 人口 - 268,304人
1950(昭和25)	千円札発行 朝鮮戦争勃発	区ミシン貸付け事業開始 「桜の足立」 足立区教育委員会成立 社会福祉法人聖風会足立養老院設立 足立区産業振興館完成 都営住宅建設 第8回国勢調査 人口 - 332,181人
1951(昭和26)	日米安全保障条約調印	
1952(昭和27)	血のメーデー事件	
1954(昭和29)	第五福竜丸被災	
1955(昭和30)	第8回国勢調査 総人口 - 89,275,529人	
1956(昭和31)	神武景気	都営住宅建設
1957(昭和32)	日ソ通商条約調印	都営住宅建設
1958(昭和33)	関門国道トンネル開通	足立体育館完成 足立区紋章を制定 綾瀬橋完成 都営住宅建設
1960(昭和35)	カラーテレビ放送開始	区立体育館プール完成 国勢調査 人口 - 408,558人

年	日 本	足 立 区
1961(昭和36)	農業基本法公布	西新井橋完成 豊島橋架替え 新田橋完成 都営住宅建設
1962(昭和37)	東京都の人口一千万人突破	地下鉄日比谷線 北千住 - 人形町間開通 都営住宅建設
1963(昭和38)	日ソ貿易協定	日本住宅公団の花畑団地建設 足立区青年館開館 足立区文化会館開館 都営住宅建設
1964(昭和39)	オリンピック東京大会	日本住宅公団が北山谷と竹の塚に大団地を建設 北山谷・西新井第三・花畑の3団地は交通の便が悪いため、団地バスの運行を決める 足立清掃工場落成式 商工経営ソノ・ライブラリー設置 地下鉄日比谷線北千住 - 中目黒間全線開通 「お化け煙突」姿を消す 都営住宅建設
1965(昭和40)	佐藤・ジョンソン共同声明	新神谷橋と鹿浜橋が片側だけ完成して開通 博愛ホ - ム開設 人口50万人突破(503,527人) 都営住宅建設
1966(昭和41)	法務省住民登録集計 総人口 - 1億55万4894人	西新井大師本堂火災 江北橋の架替え工事が完成し開通 足立区被保護世帯6000を越す (東京23区の平均の倍以上でトップ) 新加平橋完成 新堀切橋完成 都営住宅建設
1967(昭和42)	日米共同声明発表	区役所新庁舎完成 新神谷橋完成 ボランティアが結成され、社会奉仕始まる 堀切橋全面開通 「区の木」にイチヨウ・ケヤキ・スズカケが決定 草加バイパス開通式 都営住宅建設
1968(昭和43)	十勝沖地震	都電二一系線千住4丁目 - 三ノ輪橋間廃止 西新井陸橋開通 梅島陸橋取り壊される 昭和ゴム工場跡に日本住宅公団によって、北千住市街地住宅・日ノ出町団地が建設される 都営住宅建設
1969(昭和44)	東名高速道路全線開通	地下鉄千代田線 北千住 - 大手町間開通
1970(昭和45)	日本万博開催	下水道砂幹線完成 国勢調査 人口 - 571,791人 足立区開発公社発足

年	日 本	足 立 区
1971(昭和46)	スミソニアン協定 1ドル=308円	補助100号線が西新井橋北詰から環状7号線まで開通 区民センター建設始まる 地下鉄千代田線 北千住 - 綾瀬間が開通
1972(昭和47)	日中国交正常化	営団地下鉄綾瀬 - 代々木間全線開通 児童館建設始まる
1973(昭和48)	円の変動相場制移行	人口60万人突破 大谷田陸橋完成 千住1～5丁目の旧日光街道で、区内初の歩行者天国 老人館開館はじまる
1974(昭和49)	国土庁発足	北千住 - 竹ノ塚間の複々線化完成 綾瀬駅高架下に区初の駐輪場開設 教育センター開館 消費者センター開設
1975(昭和50)		人口 - 609,025人
1976(昭和51)	ロッキード事件	自転車・歩行者の専用道路開通 (荒川南岸千住新橋 - 西新井橋間) 区民農園開設
1977(昭和52)	漁業専管水域200海里に設定	寝たきり老人の訪問看護制度開始
1978(昭和53)	日中平和友好条約調印	放射11号線、扇大橋より環状7号線まで開通 本庁舎新館、保険センター完成
1979(昭和54)	東京サミット開催	区内初のサイクリングロード(中川堤)完成 足立の花火大会20年ぶりに復活 営団地下鉄千代田線 綾瀬 - 北綾瀬間開通
1980(昭和55)		住区センター建設始まる
1981(昭和56)		人口 - 619,961人 江北五色桜里帰り(ワシントンより50年ぶり) 舎人公園開園
1982(昭和57)		首都高速道路6号線 向島 - 千住新橋間開通 綾瀬コミュニティ道路完成
1983(昭和58)	ロッキード事件裁判有罪判決	区政50周年 区初の市街地再開発事業である綾瀬1丁目地区の都市計画決定 足立区の65歳以上の高齢者が43,714人となり7%を越し、高齢化社会突入 足立区全域が緑化推進の重点地区に指定される
1984(昭和59)		オーストラリア西部のベルモント市との姉妹都市提携調印式を挙行
1985(昭和60)	男女雇用機会均等法成立	首都高速6号線三郷線開通 北千住駅ビル「ウィズ」完成
1986(昭和61)	国鉄分割民営化	人口 - 622,640人 区役所中央本町庁舎落成式 綾瀬川に五兵衛新橋開通 情報公開制度スタート 足立区立郷土博物館開館

年	日 本	足 立 区
1987(昭和62)		再開発ビル「綾瀬ブルミエ」完成 首都高速川口線開通
1988(昭和63)	リクルート事件	(財団法人)足立区まちづくり公社設立 公益信託あだちまちづくりトラスト設立 あだちまちづくりフォーラム開催 都市景観・彫刻のまち基金創設 放射11号線 入谷町 - 舎人4丁目間完成 婦人総合センターエル・ソフィア内に開設 文部省生涯教育推進事業のモデル市町村に 足立区が指定される
1989(昭和64)	昭和天皇崩御	
1990(平成2)	PKO協力法成立	都立武道館開館 足立あいあい公社設立 プチテラス整備はじまる 人口 - 631,014人
1991(平成3)		
1992(平成4)		(株式会社)都市活性化センター設立 鹿沼市と友好都市提携を締結
1993(平成5)	細川内閣成立	放送大学東京第三学習センター開校 ベルmont公園開園
1994(平成6)	自社さきがけ連立内閣成立	児童文化センター・文化ホール完成 足立区個人情報保護条例施行
1995(平成7)	阪神・淡路大震災	八潮市と災害援助協定締結
1996(平成8)		区役所新庁舎オープン